

令和5年12月3日(日) 観世会定期能

【演目・出演者】

能 遊行柳 青柳之舞 朽木留

前シテ/尉 後シテ/老柳ノ精 ワキ/遊行上人	観世 恭秀 福王茂十郎 山本凜太郎	後見	武田 尚浩 坂井 音晴
間狂言/所ノ者	山本凜太郎	地謡	武田 宗和 中島 志津夫 浅見 重好 木原 康之 野村 昌司 武田 友志 関根 祥丸 久田 勘吉郎
笛	一噌 庸二		
小鼓	大倉源次郎		
大鼓	國川 純		
太鼓	小寺 佐七		

狂言 文荷

太郎冠者	山本泰太郎
主	若松 隆
次郎冠者	山本 則重

午後3時05分頃(休憩20分)

仕舞

江野島 武田 宗典	地謡	藤波 重彦
半 蔀 キリ 津田 和忠		坂井 音隆
松 虫 ケセ 上田 公威		武田 文志
車 僧 藤波 重孝		武田 崇史

能 小鍛冶 重キ黒頭

前シテ/童子 後シテ/稲荷明神 ワキ/三條宗近	観世三郎太 福王 和幸 山本 則孝	後見	山階彌右衛門 坂口 貴信
間狂言/宗近/下人	山本 則孝	地謡	観世 清和 関根 知孝 角 幸二郎 清水 義也 坂井 音雅 木月 宣行 武田 祥照 井上裕之真
笛	一噌 隆之		
小鼓	飯田 清一		
大鼓	亀井 広忠		
太鼓	林 雄一郎		

附 祝 言

終演予定 午後4時40分

- ・諸般の事情により、演目・上演形式・出演者の変更の場合もございます。
- ・館内の空調はお席によっては冷暖房の温度高低に差がございます。予め御留意いただきますようお願い申し上げます。
- ・公演中の無断撮影、録音は著作権等の法律に抵触いたしますので、固くお断り申し上げます。
- ・演能中の見所への入退場につきましては、制限させていただきます場合がございます。何卒ご了承ください。

【あらすじ】

能 遊行柳 青柳之舞 朽木留
(ゆぎょうやなぎ あおやぎのまい くつきどめ)

遊行上人は、陸奥・白河の関の辺りで出会った老人に「朽木の柳」という名木へ案内される。老人はかつて西行がこの名木を歌に詠んだ故事を語ると、柳の陰に消える。やがて老柳の精が現れ、柳にまつわる和漢の故事を引き、上人の念仏に報謝の舞を舞う。

狂言 文荷 (ふみにない)

主人の恋文を届けるよう命じられた太郎冠者と次郎冠者は、初めは文を交代で持つが、やがて竹竿に結びつけて二人で担っていく。そのうち文を見てみたくなった二人は奪い合っているうちに、文を引き裂いてしまい・・・。

能 小鍛冶 重キ黒頭

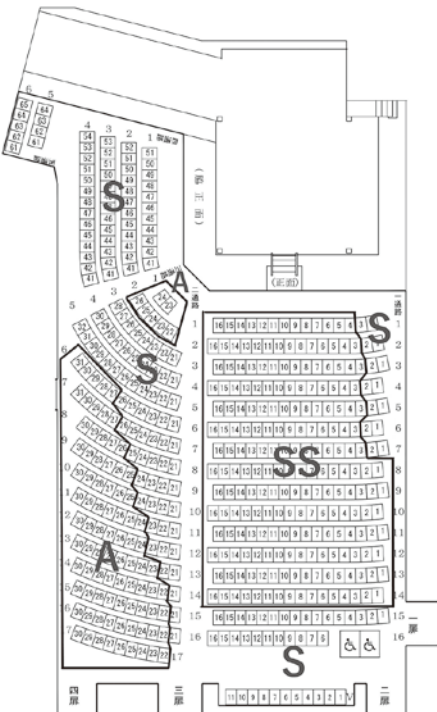
(こかじ おもきくろがしら)

帝に献上する御剣を打つようにとの勅命を受けた三条小鍛冶宗近は、氏神の稲荷社に参詣したところ、不思議な童子より神助の約束を受ける。宗近が家で御剣を打つ準備をし神々の助力を祈念していると、神使の靈狐が現れ、宗近と共に剣を打ち、名剣小狐丸を仕上げる。

●能面解説

喝喰(かつしき)

銀杏の葉のような前髪が特徴的な面であり、前髪の残る禪宗の半僧半俗の少年の姿を表現している。作者の河内は井関家の四代目で、観世の座付き能面師として活躍し数多くの能面が今も観世宗家に伝わっている。江戸時代。



令和6年1月観世会定期能のお知らせ

1月7日(日) 午後1時始

翁 観世 清和
胡蝶 物著 津田 和忠
野守 黒頭 天地之声 角 幸二郎

チケット発売 会場販売 11月5日(日)
電話・インターネット 11月7日(火)

能楽はユネスコ(国際連合教育科学文化機関)による第1回「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」を受け、世界無形遺産に認定されております。

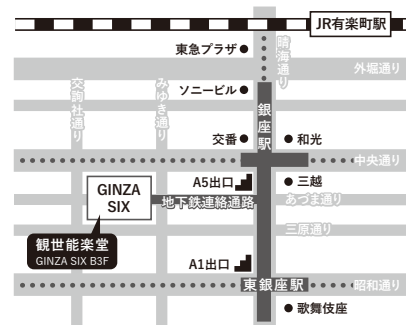
二十五世観世左近記念

観世能楽堂

東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3F
Tel: 03-6274-6579

地下鉄銀座駅からGINZA SIX地下2階につながる地下通路がございます。

- 銀座駅/東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線
A5出口より徒歩2分
- 東銀座駅/東京メトロ日比谷線・都営浅草線
A1出口より徒歩3分
- 有楽町駅/JR山手線・京浜東北線/
東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分



THE CURRY ギャリー

特製ルウと別添ブイヨンペーストが織りなす
ハウス最高級のコクと香り

NEW

スパイスの香り立ちと濃厚さをアップ!